

## 2. 事務所相互訪問

### (1) 概要

NGO、JICA 双方の相互学習・相互理解を深めるため、それぞれの組織概要や基本理念、業務内容を知ることが目的として、研修初日に事務所相互訪問を行った。

今回の研修テーマである「自立発展性」についての議論を行う前に、組織概要や事業の運営体制を通して双方の「プロジェクト」に対する捉え方を再確認することや、事務所の雰囲気を実際に肌で感じることは、研修の導入として重要な部分であると思われる。

### (2) 訪問スケジュール

#### <NGO スタッフ→JICA 本部訪問>

時間	項目	講師
10:30～ 11:20	集合、受付、事務連絡、自己紹介	
11:20～ 12:30	JICA事業概要について	JICA企画・評価部企画課 課長代理 三角幸子
12:30～ 13:30	意見交換会（昼食含む）	
13:30～ 14:00	JICAプラザ見学	
14:00～ 15:00	国別事業実施計画と技術協力プロジェクトの計画段階から評価まで	JICAアジア第一部東南アジア課 課長代理 勝又 晋
15:00～ 16:00	NGOとの連携事業について	JICA国内事業部国内連携促進課 課長代理 竹内智子
国際協力総合研修所へ移動		

#### <JICA スタッフ→NGO 事務所及び（特活）国際協力 NGO センター訪問>

時間	項目	講師
9:30～ 10:00	集合、受付、事務連絡	
10:00～ 11:00	各事務所へ移動	
11:00～ 13:30	NGO事務所訪問 団体事業説明と意見交換会	(特活) シェア＝国際保健協力市民の会 事務局長 山口誠史 (特活) ヒマラヤ保全協会 事務局長 田中 博
13:30～ 14:30	国際協力NGOセンターへ移動	
15:00～ 16:00	NGOのプロジェクト運営・支援体制と 国際協力活動の現状	(特活) 国際協力NGOセンター (JANIC) 事務局長 山崎唯司
国際協力総合研修所へ移動		

### (3) NGO 事務所訪問

#### (特活) ヒマラヤ保全協会 (IHC)

講師：IHC 事務局長 田中 博

内容：①団体の沿革

②現在の活動

③現在の団体運営状況

④現在のプロジェクトはどのように始まったのか、いつどのように終了させる方針なのか

⑤質疑応答・意見交換（昼食を挟んで）

#### (特活) シェア=国際保健協力市民の会

講師：事務局長 山口 誠史

内容：①団体の沿革（ビデオ視聴）

②現在の活動

③今後の活動方針

④NGO 職員の日常業務について

#### (特活) 国際協力 NGO センター (JANIC)

講師：常務理事・事務局長 山崎唯司

内容：①日本の国際協力 NGO に関するデータ、状況

②JANIC の沿革

所感：

相互の組織の概要や事業の運営体制、事務所の雰囲気等を、実際に訪れて感じたことで、その後の議論においても相手の事業実施体制についてイメージが掴みやすくなった。

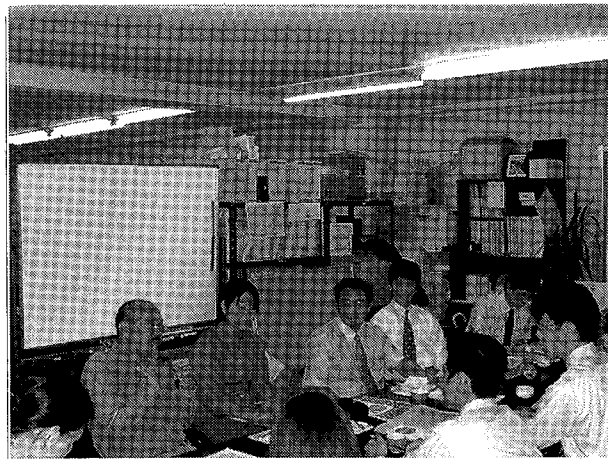
今回の相互研修のテーマ「プロジェクトに終わりはあるのか？」は、IHC の田中事務局長の発案によるものである。そのため IHC 事務所訪問では、団体の沿革などの説明のほか、全体の半分程度の時間を割いてこのテーマについて、同団体の経験から問題提起や意見交換を行ったことで、後の研修日程にスムーズに入ることができた。

シェア事務所訪問では、ボランティアスピリットとプロ意識が同居した NGO 職員の仕事に対する姿勢について、参加した JICA 職員の多くが感銘を受けた。

JANIC 事務所訪問では、山崎事務局長より現在の国際協力 NGO の全体像や特徴について説明を受け、参加者は JANIC が持つこうした NGO 界の情報を興味深く吸収した。とりわけ今回は国内連携促進課からの受講者が多く、得た知識をそれぞれ担当する NGO 連携業務に応用しようとする姿が印象的であった。

事務所相互訪問訪問先別リスト

訪問先	受講者氏名	所属
(特活) シェア＝ 国際保健協力市民の会	奥村 真紀子	JICA 国内事業部
	城後 倫子	JICA 国際協力総合研修所
	白井 宏明	JICA 東京国際センター
	丸山 隆央	JICA 青年海外協力隊事務局
	山田 智之	JICA 青年海外協力隊事務局
(特活) ヒマラヤ保全協会	岩井 雅明	JICA 国内事業部
	興津 圭一	JICA 中部国際センター
	奥田 久勝	JICA 社会開発調査部
	尾上 公一	JICA 国内事業部
	藤田 暁子	JICA 国内事業部
	松久 逸平	JICA 国際協力総合研修所



## (4) JICA 本部訪問

### 「JICA 事業概要について」

講 師：JICA 中南米部計画課 課長代理 上島篤志

講義時間：1時間10分

- 内 容：①日本の ODA における JICA の位置づけ  
②JICA 組織及び事業概要  
③JICA 事業の基本枠組み  
④新生 JICA と改革のポイント  
⑤技術協力プロジェクトの枠組み

### 「国別事業実施計画と技術協力プロジェクトの計画段階から評価まで」

講 師：JICA アジア第一部東南アジア課 課長代理 勝又 晋

講義時間：1時間

- 内 容：①国別事業実施計画
- ・ 国別・地域別アプローチとは
  - ・ JICA における国別・地域別アプローチ
  - ・ JICA 国別事業実施計画
- ②要望調査
- ・ 調査のサイクルとポイント
- ③技術協力プロジェクトの計画段階から評価まで
- ・ 事前評価調査と PDM の作成
  - ・ モニタリング
  - ・ 終了時評価調査と評価 5 項目

### 「NGO との連携事業について」

講 師：JICA 国内事業部国内連携促進課 課長代理 竹内智子

講義時間：1時間

- 内 容：①国民参加協力推進事業の背景  
②NGO-JICA 連携の経緯・現状
- ・ 草の根技術協力事業
- ③連携の意義  
④国内連携の新たな視点  
⑤国民参加協力推進事業の法的位置付け

所感：

各講義とも約1時間の短い制限時間の中で行われたため、質疑応答に十分な時間が取れなかったことが心残りではあるが、担当講師による研修テーマに沿った中身の濃い講義に、積極的に参加する受講者の姿が見られた。また、JICAの独立行政法人化を直前に控えた時期であったことも関係してか、特に新生JICAがどう変わるのかに多くの関心が寄せられ、質問が飛び交った。その他、講義の合間に設けられた意見交換会（兼昼食会）やJICAプラザ見学でも参加者の熱心な姿勢が窺えた。

3日間の研修初日にこの事務所訪問を通して、実際にJICAで働く「人」に触れ、その理念やNGOとの連携について知ることは、研修の目的の一つである相互理解に大きく役立つものと思われる。

